

令和元年度 学校教育自己診断の結果について【報告】

★報告の内容は下の4項目



(1) 提出率
(2) 集計結果・分析 (生徒・保護者・教職員)
(3) 記述回答
(4) まとめ

★★★ 分析基準 ★★★

- * 回答欄の「そう思う」または「だいたいそう思う」の回答があったものを肯定的と捉え、逆に「あまり思わない」や「思わない」の回答を否定的と捉える。
- * 達成度を測る基準として「肯定的意見が全体の70%以上」を捉える。また、「否定的意見は全体の30%以上」を課題として捉える。

(1) 提出率

	提出数	提出率	昨年度	合計	総合・提出率
保護者	317/390人	81%	89%	492/567人	87%
教職員	175/177人	99%	100%		
生徒（高等部）	80/112人	71%	79%		

*前回との比較

- 保護者は、前回と比較して、7%下がった。次年度も引き続き協力を呼びかけたい。
- 教職員については、今年度は99%に下がった。引き続き自己診断の趣旨・ねらい等を踏まえながら主体的な参画を図っていく。
- 生徒については、前回より8%下がった。次年度も引き続き協力を呼びかける。

(2) 集計結果・分析 (生徒)

このアンケートは、みなさんが勉強したり、遊んだり学校で楽しくすごせるようにするためのものです。

こたえ方は、「はい」「いいえ」「わからない」と書いてあるところを○でかこんでください

■肯定的意見90%以上 ▲肯定的意見5%以上の上昇
▽肯定的意見5%以上の下降

1 学校へ行くのが楽しいですか。

2 授業はわかりやすいですか。

3 学校では友だちの大切さや社会のルールについて学ぶことができますか。

4 先生はがんばったことをほめてくれますか。

5 先生はこまっているとき、たすけてくれますか。

6 いじめでこまっていることがあれば、先生は話を聞いてくれますか。

7 卒業後の進路のことでわからないことがあれば、先生は教えてくれますか。

8 校外学習、宿泊学習、修学旅行は楽しいですか。

9 運動会、学習発表会は楽しいですか。

10 給食はおいしいですか。

	R1肯定	R1否定	30肯定	30否定
1	88 ▲	3	79	8
2	79 ▲	3	69	4
3	76 ▲	1	71	1
4	■95	0	85	0
5	86 ▲	1	57	2
6	58 ▽	1	77	2
7	54	3	55	1
8	89 ▲	3	82	1
9	85	4	81	2
10	88	4	87	4

- 10項目中、達成基準に達したもの(70%以上)は8項目あった。
・そのうち昨年より5%以上数値が上がったのは、1番『学校へ行くのが楽しいですか。』、2番『授業はわかりやすいですか。』、3番『学校では友だちの大切さや社会のルールについて学ぶことができますか。』、5番『先生はこまっているとき、たすけてくれますか。』、8番『校外学習、宿泊学習、修学旅行は楽しいですか。』の5項目で、5番については約30%の上昇が見られた。日頃の教員の気づきも含め、丁寧な支援を心がけている成果と考えられる。
- 基準に達成しなかったものとしては、次の2項目が挙げられる。
・6番『いじめでこまっていることがあれば、先生は話を聞いてくれますか。』は肯定的意見が58%という数値であるが、否定的意見は1%と低く、いじめにおける困り感を感じていないことが考えられる。
・7番『卒業後の進路のことでわからないことがあれば、先生は教えてくれますか。』は肯定的意見が54%と低い数値であるが、否定的意見も3%と低く進路のことで分からないと特に感じていない生徒もいることが考えられる。今後も進路学習や進路指導の充実を図り、生徒たちにわかりやすい発信をしていきたい。

(2) 集計結果・分析（保護者）

			R1 肯定	R1 否定	30 肯定	30 否定	小 肯定	小 否定	中 肯定	中 否定	高 肯定	高 否定	
児童・生徒の様子	1	学校へ行くことを楽しみにしている。	1	88	8	89	8	85	8	87	10	93	5
	2	授業を楽しみにしている。	2	79	11	82	12	83	8	74	15	84	7
	3	給食を楽しみにしている。	3	86	9	86	10	87	10	85	10	88	9
	4	学校行事（運動会・学習発表会・校外学習・宿泊学習など）を楽しみにしている。	4	86	8	84	11	82	9	85	7	91	6
教育活動	5	『個別の教育支援計画』にもとづいた支援を行っている。	5	■93	3	■91	4	94	4	92	4	93	2
	6	『個別の指導計画』にもとづいた指導・支援を行っている。	6	■92	3	■91	4	93	4	91	4	94	1
	7	子どもの発達段階や課題に応じた授業を行っている。	7	■90	6	86	8	94	3	87	7	90	7
	8	教科学習や生活指導における教材や教具は工夫・配慮されている。	8	89	7	89	5	92	3	86	10	91	7
	9	『学校生活の記録』『学習の記録』を通じて、学習状況や成果を適切に評価している。	9	■97	2	■93	2	98	1	94	4	99	0
	10	検診や測定、食育活動、手洗い、歯磨き指導などを通じて、適切な健康教育を行っている。	10	■93	3	■93	3	93	3	92	4	95	4
	11	避難訓練（地震、火災、不審者、通学バス）や交通安全教室などを通じて、適切な防災教育・安全教育を行っている。	11	■93	1	■90	2	95	0	90	2	95	2
	12	体罰の防止をはじめ、児童・生徒の人権尊重にもとづいた指導・配慮を行っている。	12	75	8	79	5	77	7	73	7	77	10
	13	いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	13	73	2	77	2	69	1	74	4	75	2
	14	あいさつや規則を守ることを通して、社会性を養う指導を行っている。	14	■91	2	■90	3	89	3	90	2	95	1
	15	学校生活を通じて、将来の自立・社会参加に向けた教育（キャリア教育）を行っている。	15	84	5	82	6	83	4	80	7	90	2
	16	近隣の小・中学校との交流（居住地区校交流含む）、高等学校との交流の機会を設けている。	16	79	9	77	7	76	8	84	10	74	9
保護者との連携	17	健康に必要な情報（保健だより・食育だより）を適切に提供している。	17	■98	1	■97	2	98	0	98	1	100	0
	18	進路に関する情報（進路だよりや保護者説明会など）を適切に提供している。	18	■96	2	■93	3	92	2	97	1	98	2
	19	児童・生徒についての保護者の悩みや相談に適切に応じてくれる。	19	■92	4	■91	4	93	3	88	6	96	1
	20	学校では、PTA活動が活発に行われている。	20	■92	2	88	2	91	1	90	2	94	1
	21	学習や生活の様子など、連絡帳や学年通信、また懇談会や授業参観などを通じて知ることができる。	21	■98	1	■95	3	98	1	98	1	100	0
教育環境その他	22	教室の掲示物やスケジュールなどの学習環境、また授業で使用する教材や内容提示の方法などが、児童・生徒の特性に応じて視覚的にわかりやすく示されている。	22	■93 ▲	3	87	4	97	0	88	6	95	2
	23	受付時のチェック体制など、不審者への対応を適切に行っている。	23	■94 ▲	3	89	4	94	2	91	4	98	1
	24	校内でのけがや病気に対する適切な対応ができています。	24	■92	3	88	3	94	1	88	6	95	1
	25	校内は清掃が行き届いている。	25	77	18	76	18	77	19	79	16	74	20
	26	施設や設備は児童・生徒にとって安全に整備されている。	26	75	14	72	18	76	15	73	15	78	14
	27	災害に備えて、備蓄や避難体制づくりなど取り組みを行っている。	27	87 ▲	4	80	4	88	4	85	4	89	2
実習	28	企業・施設・作業所等の情報を提供している。	28	■94 ▲	5	84	9					■94	5
	29	企業実習・作業所実習の取り組み・支援が適切に行われている。	29	■90 ▲	7	78	10					■90	7

● 29項目すべて肯定的意見が7割を超え、達成基準に達した。

● 12番『体罰の防止をはじめ、児童・生徒の人権尊重にもとづいた指導・配慮を行っている。』については、肯定的意見が4%減少した。教員としての行動指針の確認、セルフチェックシートの活用等引き続き行い、自ら考える機会について積極的に設けていくとともに、人権研修を実施し人権意識をより高めていきたい。

● 25番『校内は清掃が行き届いている。』、26番『施設や設備は児童・生徒にとって安全に整備されている。』については、肯定的意見が7割を超えているものの、否定的意見は14%、18%とやや高い。今年は夏休み期間に作業棟の大規模改修が行われ、各教室や廊下の環境が大きく改善された。また、昨年行政指導により撤去された渡り廊下の屋根が再び設置されたり、破損していた遊具の改修も行われた。今後も引き続き学校美化、安全整備について力を入れていきたい。

● 27番『災害に備えて、備蓄や避難体制づくりなど取り組みを行っている。』については、肯定的意見が7%上昇した。備蓄品については定期的に入れ替えを行う他、種類・数の充実を図ってきたい。

● 28番『企業・施設・作業所等の情報を提供している。』29番『企業実習・作業所実習の取り組み・支援が適切に行われている。』は、ともに大きな数値の上昇が見られた。9月に実施されたPTA施設・作業所合同説明会や進路に関わる情報発信の成果と考えられる。

● 交流に関する項目の数値が同じ設問に対する教員の数値より明らかに低いことについては、保護者への情報発信が少ないことも考えられるが、各学部とも交流を行っている学年が決められていることや生徒会役員に限られた交流があること等が影響していると考えられる。

(2) 集計結果・分析（教職員）

	No.		R1 肯定 (%)	R1 否定	30 肯定	30 否定	小 肯定	小 否定	中 肯定	中 否定	高 肯定	高 否定
教育活動	1	『個別の教育支援計画』にもとづいた支援を行っている。	■94	5	■95	5	94	6	95	5	95	5
	2	『個別の指導計画』にもとづいた指導・支援を行っている。	■94	5	■94	5	94	6	95	5	95	5
	3	児童・生徒の発達段階や課題に応じた授業を行っている。	■95	3	■94	6	92	8	97	2	98	2
	4	教科学習や生活指導における教材や教具は、工夫・配慮している。	■95	3	■97	2	94	6	98	2	98	2
	5	『学校生活の記録』『学習の記録』を通じて、学習状況や成果を適切に評価している。	■91	6	■96	3	92	8	95	3	88	12
	6	検診や測定、食育活動、手洗い、歯磨き指導などを通じて、適切な健康教育を行っている。	■93	6	■95	4	96	4	94	6	91	9
	7	避難訓練（地震、火災、不審者、通学バス）や交通安全教室などを通じて、適切な防災教育・安全教育を行っている。	■94	4	■95	4	92	8	97	2	95	5
	8	体罰の防止をはじめ、児童・生徒の人権尊重にもとづいた指導・配慮を行っている。	■93 ▲	6	87	13	90	10	95	5	95	5
	9	いじめ（疑いを含む）が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができる。	86 ▲	12	80	19	81	19	94	6	86	14
	10	あいさつや規則を守ることを通して、社会性を養う指導を行っている。	■93	6	■93	6	94	6	95	5	93	7
	11	学校生活を通じて、将来の自立・社会参加に向けた教育（キャリア教育）を行っている。	89	10	89	10	87	14	88	11	95	5
	12	企業実習・作業所実習の取り組み・支援を適切に行っている。	87	11	87	10	83	15	84	14	95	5
	13	近隣の小学校・中学校との交流（居住地校交流含む）、高等学校との交流の機会を設けている。	■90	9	■90	9	94	6	86	14	95	5
保護者との連携	14	健康に必要な情報（保健だより・食育だよりなど）を適切に提供している。	■98	1	■99	0	100	0	98	2	98	2
	15	進路について必要な情報（進路だよりや保護者説明会）、また企業・施設・作業所等の情報を提供している。	■96	2	■99	1	100	0	92	5	98	2
	16	児童・生徒についての保護者の悩みや相談に適切に対応している。	■93	6	■93	6	89	12	94	3	98	2
	17	学校では、PTA活動が活発に行われている。	■94	5	■94	5	92	8	95	3	93	7
	18	連絡帳や電話を通じて、保護者との連携をきめ細かく行っている。	■96	3	■98	2	94	6	100	0	98	2
19	連絡帳や学年通信を通じて、学習予定や内容などを積極的に提供している。	■96	3	■98	2	100	0	98	2	93	7	
視覚支援	20	教室の掲示物やスケジュールなどの学習環境を、児童・生徒の特性に応じて視覚的にわかりやすく示している。	■92	6	■96	4	96	4	95	3	86	14
	21	児童・生徒の特性に応じて、授業が視覚的にわかりやすくなるよう、教材や内容提示の方法などを工夫している。	■94	5	■97	3	96	4	95	3	93	7
組織マネジメント	22	校長・准校長は自らの教育理念や学校経営について、考え方を明らかにしている。	■91	9	89	10	85	15	94	6	93	7
	23	校長・准校長は学校運営にリーダーシップを発揮している。	77	21	81	19	75	25	80	17	72	28
	24	学校運営に教職員の意見が反映されている。	59	39	57	42	54	46	63	36	56	44
	25	学校運営に関する必要な情報が全体に知らされている。	75 ▲	23	68	31	71	29	78	20	72	28
	26	会議の結果が教育活動や学校運営に生かされている。	75 ▲	23	65	35	71	29	78	19	74	26
	27	日々の教育活動における問題や悩みについて、気軽に相談し合えるような職場である。	76 ▲	23	69	31	73	27	70	30	84	16
	28	体罰防止等の人権尊重について、日々の教育活動に反映できるように、研修等に取り組んでいる。	89 ▲	10	80	20	83	17	89	9	95	5
	29	初任・経験の少ない教職員への、育成における取り組みは積極的である。	74	25	76	24	67	33	78	22	81	19
	30	分掌、学部、学年それぞれの連携は図られている。	72	27	72	28	77	23	64	36	74	26
	31	労働衛生環境は少しずつ改善している。	56 ▲	43	49	51	56	44	56	44	51	49
	32	勤務実態や休憩時間、教材研究や授業準備の時間など、労働条件は少しずつ改善している。	55 ▲	44	37	62	56	44	55	45	51	49
33	学校の課題を見つけ、改善に向け取り組みを行っている。	63	36	65	35	60	40	63	37	65	35	

(2) 集計結果・分析（教職員）

	No.		R1 肯定 (%)	R1 否定	30 肯定	30 否定	小 肯定	小 否定	中 肯定	中 否定	高 肯定	高 否定
地域連携	34	地域支援においてセンター的機能を発揮し、リーディングスタッフやコーディネーターが動きやすい体制が整っている。	88▲	11	81	18	89	11	91	8	84	16
	35	地域の幼稚園・保育所・小中学校・高校との連携・支援を行っている。	82	15	81	19	81	17	81	16	84	16
	36	言語聴覚士・臨床心理士・医師・子ども家庭センターなど、外部機関と連携し児童・生徒の支援を行っている。	87	11	88	12	96	4	84	12	81	19
	37	消防署や警察と連携した『児童・生徒の安全を守る』訓練は充実している。	87	11	■90	10	89	12	83	14	89	12
	38	地域に開かれた研修会を行っている。	87▲	11	80	20	87	13	84	14	93	7
教務	39	公文書や指導要録等の管理は十分に配慮されている。	■91	9	■92	7	98	2	88	12	88	12
総務	40	施設・設備は安全面に十分配慮し、整備を行っている。	64	35	65	35	73	27	67	31	42	58
	41	学校予算は適正に編成・執行されている。	85	14	85	14	90	10	83	16	84	16
	42	PTA活動への教職員の理解・参加・協力は積極的である。	79	19	82	18	83	17	81	17	70	30
	43	個人情報の管理における校内システムは確立している。	88	11	84	15	90	10	89	11	86	14
	44	情報公開に対応するための教職員の共通理解が図られている。	85▲	14	80	19	87	14	84	14	86	14
	45	ICT教育の推進に必要な機器（タブレット端末など）は充実している。	58	42	59	40	57	43	55	45	58	42
	46	日々の教育活動においてICT機器（タブレット端末など）を積極的に活用している。	66▽	34	75	24	64	36	63	37	70	30
行事	47	運動会や学習発表会、作品展などの校内行事の運営が適切に行われている。	■94	6	■92	6	94	6	97	3	88	12
生活安全	48	生徒指導について組織として迅速に対応できている。	89	10	86	14	87	14	88	12	93	7
	49	全校集会など児童・生徒会活動は活発である。	83	16	86	14	89	12	84	16	79	21
	50	校内外における行方不明対策や校内巡視は整備されている。	■92	7	■92	7	94	6	91	8	91	9
	51	災害に備えて、備蓄や避難体制づくりなど取り組みを行っている。	■90	9	88	11	87	13	92	6	93	7
保健衛生	52	校内の清掃活動を意欲的に取り組んでいる。	66▽	33	72	28	75	25	70	28	51	49
	53	保健室は健康に関する相談がしやすい。	■94	4	■93	7	92	8	92	5	100	0
	54	校内でのけがや病気に対し適切な対応をしている。	■98	0	■98	2	100	0	97	0	100	0
	55	給食は子どもの実態に応じて安全に作られている。	■92	7	■96	3	81	19	95	3	100	0
支援教育	56	校内支援（ケース会議・言語聴覚士相談・臨床心理士相談・支援教育相談会・支援教育図書コーナーなど）が受け易い体制が整っている。	87▽	10	■93	7	92	8	84	11	84	16
	57	校内研修は計画的に実施されている。	■93	5	■92	8	94	6	92	5	93	7
	58	校内研修は、専門性を高めて日々の教育活動に活かすことができる。	84	14	88	11	81	19	84	12	86	14
	59	キャリア教育発達段階表を基にした評価基準を活用している。	75	23	78	21	71	29	77	19	74	26
キャリア	60	進路指導に関する教職員向け研修や学習会が計画的に実施されている。	87	10	88	11	83	15	86	11	93	7
	61	卒業生のアフターケア（進路先訪問や進路変更の相談など）が行われている。	83	13	86	12	81	15	77	19	93	7

- 1～21番までの21項目すべて肯定的意見が7割を超え、達成基準に達した。
- 22～33番までの「組織マネジメント」12項目では、24番『意見の反映』31番『労働衛生環境』32番『労働条件』33番『学校の課題改善』の4項目が7割に達せず、否定的意見が3割を超えた。『意見の反映』については、学校運営という言葉の捉え方が人によって異なることが考えられ、数値にも影響が出ている可能性がある。また、施設整備や労働環境に関する意見が出されるがあまり改善されないことの影響も考えられる。『労働環境・条件』については昨年度結果より上昇したが、数値としてはまだ低い。今年度から休憩時間の確保、会議時間の短縮化を図り少しずつ成果が表れてきていると考えられるが、引き続き課題である。
- 34～61番までの28項目では、40番『施設・設備』45番『ICT機器の充実』46番『ICT機器の活用』52番『校内清掃』の4項目が7割に達せず、否定的意見が3割を超えた。特にICT関係の数値は大きく下がり、TVモニターやPCの老朽化、コード等の不足、タブレット等が気軽に使えない、ICT機器の活用に関する研修の不足等が考えられ、教員や児童・生徒のICT機器活用のためにも早急な対応が必要である。『施設・設備』『校内清掃』については、高等部の数値が突出して低く、日頃から教員、生徒ともに清掃を行っているが、清掃の成果が見られないプレハブ棟（トイレ含む）の現状が大きく影響していると考えられる。

(3) 記述回答【まとめ】

多くのご意見をいただき誠にありがとうございました。

1 施設設備に関して

○ 施設を安全に衛生的に整備してほしい。トイレをきれいにしてほしい。

昨年度、今年度と大規模改修が実施された場所については、各教室・廊下・トイレ等の環境は大きく改善されました。また、渡り廊下の屋根の再設置、破損していた遊具の補修、ボルダリングウォールの新設も含めた中庭環境の改善についても行いました。しかし、プレハブ棟（トイレ含む）については改修の対象ではなく、まだまだ課題は多いのが現状です。清掃はもちろんのことではありますが環境改善に向けて強く要望していきます。

○ 体育館や集会室にエアコンを設置してほしい。

体育館の空調設置の予算が付き、令和3年度には設置される予定です。

2 学校行事に関して

○ PTA施設・作業所合同説明会について、今後も継続してほしい。
午前午後の2部開催にしてほしい。

来年度についても引き続き実施の方向でPTAとも検討をしています。

○ 運動会の在り方について検討してほしい。

来年度から運動会を1学期に2日開催とする方向で検討をしています。

3 教育活動に関して

○ 宿題を出してほしい。

担任に相談していただければ、児童・生徒の実態に応じて宿題を出させていただきます。

○ 視覚支援をもっと取り入れてほしい。

基礎的環境整備に加え、児童・生徒の実態に応じて必要な視覚支援を取り入れていくように確認していきます。また、よりよい支援が行えるよう、担任と保護者の連携についてご協力をお願いします。

4 その他

○ 通学バスについて。（ドライブレコーダーはあるか。親が同乗できるか。安全に運転をしてほしい。等）

現在ドライブレコーダーは、久宝寺コース以外は全車設置しております。令和2年度からは、全車設置の予定です。

通学バスに乗車できるのは児童・生徒のみとなっています。保護者の同乗はできません。安全運転については、バス会社、運転手、乗務員に日頃から伝えております。

通学バス車内のことやバス停でのことは日々乗務員と担任の方で共有しておりますが、お気づきの点等ございましたら担任までお伝えください。

(4) まとめ

1. 今年度の自己診断アンケートについて、保護者・生徒（高）・教員の提出率が昨年度と比較し、数値の低下が見られた。
次年度は、提出の協力についてこまめに呼びかけを行い、より多くのご意見をいただけるよう働きかけたい。
2. 今年度『保護者向け』の29項目中すべての項目が達成基準に達し、『教職員向け』については、61項目中53項目が達成基準に達した。また、『生徒（高）向け』については、10項目中8項目が基準に達した。

『保護者向け』については、数値の上昇が見られた項目が多くあった。特に進路に関する項目においては、大きく上昇し、保護者への豊富な情報発信と9月に実施されたPTA施設・作業所合同説明会のが大きく影響したものと考えられる。また、人権尊重に関する項目については70%台ではあるものの昨年より4%の下降が見られた。教員としての行動指針の確認、セルフチェックシートの活用等引き続き行い、自ら考える機会について積極的に設けていくとともに、人権研修を実施し人権意識を高めていきたい。

『教職員向け』については、労働環境・条件の項目については昨年度結果より上昇したが、数値としてはまだ低い。今年度から休憩時間の確保、会議時間の短縮化を図り少しずつ成果が表れてきていると考えられるが、引き続き課題である。また、ICTの活用についての項目が大きく下がった。機器の老朽化や数の不足に加え、ICT機器の活用に関する研修の不足も考えられる。教員や児童・生徒がICT機器を積極的に活用できるよう早急な対応を行っていきたい。

『生徒向け』については、全体的に大きく数値が上昇した。特に「こまっているとき先生は助けてくれるか」の項目では、約30%の上昇が見られ、日頃の教員の気づきも含め、丁寧な支援を心がけている成果と考えられる。

3. 学校教育自己診断アンケートの結果（記述回答を含む）を全職員で確認し、各部署で検討を行い、次年度に向け改善を図っていきたい。